## 事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画) 平成25年 7月22日更新

事業名											
尹禾石	たば	こ税課	税事務				ニフェスト 見連	□ 全庁村 課題	黄断 関連	☑ 集中で プラント	贁革 盟連
政策	4	みんな	よ元気で笑顔	あふれるま	ちづくり		属部 総務部		課長名		輝一郎
施策									担当者名	菊川	卓哉
基本事業	93	自主則	オ源の確保			所属	勇班 市税取	圧	(内線)	1124	
[科目	会計	款	項目	事業連番		5税法・合志	市税条例				
	一般	2	1			口用	年度のみ	口畄任由婦子			<u>結果 ! ⑨</u> 年度)
晶始年度		24年度	で終了	□ 24年度から	う開始 事業	業期間 □ <sup>単・</sup>			(開始中度	~ 10	年度)
事業の概	要(	具体的	なやり方、	手順、詳維	细。期間限2	定複数年度	事業は全体	像を記述)			
の内容】	製造た地	たばこ( 方税法)	の卸売販売業 による個人の	者からの申 )嗜好品への	告書を毎月st 課税となる。	で付、県から	報告のある本	数明細と突合	₃。本税は、Ⅰ	昭和25:	年に制定され
k, 네서 티	平成分	22年10	日に税制改正	による増税	が実施され <i>た</i>	こと また	社会的なた	・ばこ離れによ	り、由告書の	の本数は	減小傾向にあ
・今後の	る。							100 = 1312101 = 0	. /		/A/J
を含む)	瑁祝	こより1	<b>胆段か上かっ</b>	)7こ7こ&)、1但	段か女い旧る	(級品の押ひ)	か日立う。				
の流れ】	申告	書の受	付。甲告書に	基づく納付	額の調定。						
公典口1	マ竺	+ /坐 +	+>1>								
	ア昇リ	よけれる	ري. 								
E氏、議会、 者、利害関											
からどんな											
· 室か奇せ ・ るか?											
状把握の	部 (	DΩ	PLAN)								
			I BILLY			新規	• 拡充区分				
		度実績	(24年度に行	った主な活	動)(DO)			度に計画して	いる主な活動	ታ) (PLAN)	
受付、調定						申告	<b>書受付、調定</b>				
指標(事務	事業の	の活動	量を表す指標	夏)		(単位) 予算(	の主な増減の	理由			
告件数		_10202					o	<del></del> ,			
						<u>-</u>	×=====================================				
				人や自然資源	原等				す指標)		(単位)
第首で ある	製道7	ニほこり	り却元耒者			, r	枞积毒蒸石				
						⇒	44110642000	<b>双</b>			人
一の事業は	にょっ		+象をどう恋	えるのか)		<b>⇒</b> 7	 		むお煙)		
この事業( 申告納付	によっ		象をどう変	えるのか)		⇒ イ ③成り	 	の達成度を表	す指標)		
申告納付		て、茶				⇒ イ ③成り	果指標(意図の	の達成度を表	す指標)		(単位)
<b>申告納付</b> 果指標設定	どの理由	て、対 由と25 <sup>4</sup>	年度目標値認	定の根拠		→ イ ③成! ア → イ	果指標(意図の	の達成度を表	す指標)		(単位) 件 タルコスト
<b>申告納付</b> 果指標設定	どの理由	て、対 由と25 <sup>4</sup>		定の根拠		→ イ ③成! ア → イ	果指標(意図の	の達成度を表	す指標)		(単 <u>位)</u> 件 タルコスト 体計画
<b>申告納付</b> 果指標設定	どの理由	て、対 由と25 <sup>4</sup>	年度目標値認	定の根拠		→ イ ③成! ア → イ	果指標(意図の	の達成度を表	す指標)	全	(単位) 件 タルコスト 体計画
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業	この理じれに作	て、文 由と25 <sup>4</sup> <b>半う</b> 調気	年度目標値認 定のため、前 22年度	せ定の根拠 年度実績を 23年度	24年度	⇒ イ ②成! → ア イ 設定した。	表指標(意図の 申告書受付 25年度	の達成度を表 数 	す指標)	全	(単位) (件 タルコスト 体計画 年度 0
申告納付 果指標設定 受付及びそ	でれに任	て、文 由と25 <sup>2</sup> <b>半う</b> 調気 単位	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度目標(当初予算)	→ イ ③成! → イ 設定した。 24年度 実績(決算)	表指標(意図の 申告書受付 25年度 目標(当初予算)	D達成度を表 数 26年度 予定	27年度 見込	全 ~ 28年度 見込	(単位) 作 タルコスト 体計画 年度
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業	されに住	て、文 由と25 <sup>4</sup> <b>半う</b> 調気	年度目標値認 定のため、前 22年度	せ定の根拠 年度実績を 23年度	24年度	⇒ [イ ③成] → ア イ 設定した。	表指標(意図の 申告書受付 25年度	D達成度を表 数 	27年度	全 ~ 28年度 見込	(単位) (件 タルコスト 体計画 年度 0
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業 移 舌動指標	かに作	て、文 由と25/ <b>¥う調</b> 原 単位 <b>件</b>	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リアイ 設定した。 24年度 実績(決算)	表指標(意図6 申告書受付 25年度 <sup>目標(当初予算)</sup> 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位) (単位) (件 タルコスト 本計画 年度 0
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業 移	で れに存 者 ア イ ア	て、文 由と25 <sup>2</sup> <b>半う</b> 調気 単位	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度目標(当初予算)	→ イ ③成! → イ 設定した。 24年度 実績(決算)	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算)	D達成度を表 数 26年度 予定	27年度 見込	全 ~ 28年度 見込	(単位) 作 タルコスト 体計画 年度
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業 移 舌動指標 対象指標	で で で で で で で で で で で で で で	て、文 由と255 <b>‡う調</b> 気 単位 件 人	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リアイ 設定した。 24年度 実績(決算)	表指標(意図6 申告書受付 25年度 <sup>目標(当初予算)</sup> 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位) (単位) (件 タルコスト 本計画 年度 0
申告納付 果指標設定 受付及びそ 標・総事業 移 舌動指標	で で で で で で で で で で で で で で	て、文 由と25/ <b>¥う調</b> 原 単位 <b>件</b>	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39 5	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
申告納付 果指標設定そ 標・総事業 移 新指標 対象指標 成果指標	で カルに 作 で カイ ア イ ア イ イ 全 出 金	て、文 由と253 <b>¥う調</b> 気 単位 <b>件</b> 人 千円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
申告納付 果指標及びそ 標・総事業 移 動指標 対象指標 域、果 国 道 道 関 で 支 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	で の 理 で れ に 作 ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ の 金 出 金 し も も し も し も し も し も し も も も も も も も も も も も も も	て、文 由と254 <b>‡う</b> 調気 単位 <b>件</b> 人 件 千円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
申告納付 果指標ひそ 標移 ・総事業 対象指標 対象指標 成果 国庫府 東東 地方	で の で れ に で れ に で イ ア イ ア イ ア イ の も し 金 し 金 し 金 し 金 し も も し も し も し も し も し も し も も し も し も し も も し も も も も も も も も も も も も も	て、文 由と252 <b>‡う調</b> 原 単位 <b>件</b> 一 八 一 千 円 円 千 円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
車告納付 果指標改をそ 標・総事業 様・総事業 が象指標 域果指標 東東県 方。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で の の に で れ に で れ に で 、 れ に は 、 は 、 は 、 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	て、文 由と252 <b>‡う</b> 調気 単位 件 人 件 千千円 千円円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
世 特 特 持 標 形 で で ・ 総 事 り を を も 動 指 標 で で を も 動 指 標 で で も も も も も も も も も も も も も	で のに で で イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ の 金 出 金 出 金 出 金 出 金 出 金 出 金 出 金 出 金 出 金	て、文 由と252 <b>半う</b> 調気 単位 <b>件</b> <b>人</b> <b>件</b> 千千千千円 千千円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
# 告納付 果指標及びそ 標移 ・総 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ を ・ ・ を ・ ・ を ・ も も も も も も も も も も も も も	でれに作 費 アイアイアイ かっぱ 一 一 一 一 一 金 ・ 金 ・ 小 源	て、文 由と252 <b>‡う</b> 調気 単位 <b>件</b> 人 一 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39	程 全度実績を 23年度 実績(決算) 39	24年度 目標(当初予算) 38	⇒ イ ③成リ デアイ 設定した。 24年度 実績(決算) 37	表指標(意図の 申告書受付 25年度 目標(当初予第) 38 4	の達成度を表 数 26年度 予定 38	27年度 見込 38	全 ~ 28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0
世 特 特 持 標 形 で で ・ 総 事 り を を も 動 指 標 で で を も 動 指 標 で で も も も も も も も も も も も も も	で れて アイアイ 全金 強力費 計	て、文 由と25 <sup>2</sup> <b>‡</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b>	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39 5	23年度 実績(決算) 39 4 38	24年度目標(当初予算) 38 4 38	⇒ イ ③成 ・ ア イ 設定した。 24年度 実績(決算) 37 4	表指標(意図の 申告書受付 25年度 目標(当初予第) 38 4	D達成度を表 数 26年度 予定 38 4	27年度 見込 38 4 38	全 ~ 28年度 見込	(単位) (単位) (単位) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (ed) (ed) (ed) (ed)
世 特 特 持 持 で で を を を を を を を を を を を を を	のれに 費 アイアイアイ 金金 強 費 経経	て、文 由と25 <sup>2</sup> <b>半</b> <b>1</b> 単位 <b>件</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b>	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39 5 39	程度 全度 全度 23年度 実績(決算) 39 4 38	24年度目標(当初予算) 38 4 38 0 0	⇒ イ ③成 ・ ア イ 設定した。 24年度 実績(決算) 37 4 37	表指標(意図の 申告書受付 25年度 <sup>目標(当初予第)</sup> 38 4 38	D達成度を表 数 26年度 予定 38 4 38	27年度 見込 38 4 38	全 ~ 28年度 見込	(単位) (単位) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (中d) (ed) (ed) (ed) (ed) (ed) (ed) (ed)
世 特 特 持 持 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	のれに作 アイアイアイ 金出 金源 貴屋の外人	て、x 由と252 <b>#う</b> 調 単位 <b>件</b> 人 件 一 千 千 千 千 千 千 千 千 千 八 八 円 円 円 円 円 円 円 円 円	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39 5 39 0 0	23年度 実績(決算) 39 4 38 0 0 0	24年度 目標(当初予算) 38 4 38 0 0 0 0	⇒ [イ ③成! → [イ 記定した。 24年度 実績(決算) 37 4 37 0 0 0 0	表指標(意図6 申告書受付 25年度 目標(当初予算) 38 4 38 0 0 0	26年度 予定       38       4       38       4       0       0       0       4	27年度 見込 38 4 38 0 0	28年度 見込	(単位) (単位) (本計画 年度 0 38 4 38  0 0 0 0 0 4
世 特 特 持 持 で で で を 事 業 を を を を を を を を を を を を を	でれに作ります。 一型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大	て、x 由と252 <b>#う</b> 調気 単位 <b>件</b> 人 件 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	年度目標値記 定のため、前 22年度 実績(決算) 39 5 39 0 0	23年度 実績(決算) 39 4 38 0 0	24年度 目標(当初予算) 38 4 38 0 0 0	⇒ イ ③成 ・ ア ・ イ ・ 記定した。 24年度 実績(決算) 37 4 37 0 0 0	表指標(意図の 申告書受付 25年度 <sup>目標(当初予算)</sup> 38 4 38 0 0	の達成度を表 数 26年度 予定 38 4 38	27年度 見込 38 4 38 0 0	28年度 見込	(単位)   件   タルコスト   本計画   年度   0   38   4   - 38   1   0   0   0   0
	本事業 「本事業」 「本事業」 「本事業」 「本事をは、「本事では、「本事では、「本事では、「本事では、「本事では、」」 「本事では、「本事では、「、「、」」 「本事では、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、	基本事業 93   本事業 93   会計   一般   一般   一般   一般   一般   一般   一般   一	基本事業 93 自主則 会計 数 2 日本 1	基本事業   93   自主財源の確保   会計   款   項   目   一般   2   2   2   2   2   2   3   3   3   4   4   5   5   5   5   5   5   5   5	基本事業   93   自主財源の確保   会計   款   項   目   事業連番   一般   2   2   2   11126   1126	本事業   93   自主財源の確保   会計   教   項   目   事業連番   法令   大神   大神   大神   大神   大神   大神   大神   大	基本事業   93   自主財源の確保   所属	本事業   93   自主財源の確保   所属班   市税班   市税班   京   京   京   京   京   京   京   京   京	5本事業   93   自主財源の確保   所属班   市税班   一般   会計   表	本事業   93   自主財源の確保	124   124   124   124   125   125   124   125   125   124   125   125   124   125   12

事務事業名 たばこ税課税事務	所属部 総務部	所属課 税務課

2	評価の部	8

	↑原則は24中度の事後計画、たた	- 復数牛皮事業は24牛皮美績を踏まえての途中評価
B	①24年度目標達成度評価	□達成した □達成しなかった ⇒【原因 つ
標達	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?	
成度評価	②25年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由 ¬ □目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ¬ 製造たばこの卸売販売業者からの申告であるため、変動は無いと思われる。
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?	
	③成果の向上余地	□向上余地がある ⇒【理由 ¬ □向上余地がない ⇒ 【理由 ¬ 納税義務者が固定化しており、申告納付制のため、成果向上の余地はない
	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	
有効性評価	<ul><li>④類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	<ul> <li>□他に手段があるつ (具体的な手段、事務事業)</li> <li>□統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 つ</li> <li>□統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 つ</li> <li>□、おたまない ⇒ 【理由 つ</li> </ul>
1Ш		市の固有事務であり他事業との統廃合・連携はできない。
	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	
	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある ⇒【理由 ¬ ☑削減余地がない ⇒【理由 ¬ 事務費の支出はないため、削減余地はない。
率	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
·性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒ 【理由 ¬ □削減余地がない ⇒ 【理由 ¬ □削減余地がない ⇒ 【理由 ¬ □削減余地がない ⇒ 【理由 ¬ □ □削減余地がない ⇒ 【理由 ¬ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? か? (アウトソーシングなど)	
公平	⑦受益機会・費用負担の適正化余 地	□見直し余地がある ⇒【理由 ¬                    ☑公平・公正である ⇒ 【理由 ¬ 納税義務者からの申告納付制であり、現在も適正、公平・公正である。
性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 ではないか?受益者負担が公平・公正になって いるか?	
役割	⑧行政の役割分担の適正化	□見直し余地がある ⇒【理由 □ □役割分担は適正である ⇒【理由 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行できないか?	申告書の受付、調定計上事務であり職員対応となるため行政で行うことは適正である

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

たばこの値上げなどの事態が生じない限り、大きな変動はないと思われる。 申告納付制であるため賦課事務は生じず、市歳出予算措置を伴わないが、市の固有事務であり、事務内容も申告書の受付、 市歳入予算調定事務など職員しか対応できないため、行政の役割は適正である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)				
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果			
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善	(廃止・休止の場合は記入不要)			
□事業のやり方改善(効率性改善□事業のやり方改善(公平性改善□事業のやり方改善)	コスト			
☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない	``、 削減 維持 増加			
	」 向上			
	成維持果			
	低下			
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				